

## オープンセレモニー、テープカット



本来、テープカットは1人が実施するものですが、最近は多人数で実施することが多くなりました。また、最近では、入口に向かわずお客様に向かってする方が多くなっています。これらはけして間違いではありません。これらは時の流れです。しかし、昔からの決まり事もあります。守った方がいいと思う部分はなるべく継承すべきだと思います。

テープカットの人数は奇数でします。中央の人で、主賓を作るためです。

テープカットの人数で、4名や9名で実施する場合はあまりないようです。

来賓の方の胸リボンは赤で、主催者側は白リボンを使用します。

テープカットはリボンとリボンの中央を切るのは誤りです。リボンの中央に立っていただきます。

本来ならば、入り口に向かって、テープカットを致しますが、本日は、趣向をこらしまして、皆様によく見えるようにお客様の方を向いてテープカットをさせて頂きます。というコメントも必要です。

初めてテープカットされる方もいらっしゃると思いますので、「テープカットをして頂く皆様は、紅白のリボンの左側を持って頂き、リボンの右側に、私の合図で、はさみをお入れ下さいませ。はさみをお入れになられた後で、左手でしっかりと紅白リボンをお持ち下さいませ。」というコメントは親切です。

テープカット後、リボンを落としてしまう方が多いですが、これはしっかり持つようにしましょう。リボンとはさみを持って最終会釈し、ファンファーレが鳴り響くところはとても感動的です。



1人のテープカッターに対し、2本のポールを立てる時は、左のポールにテープがつながっていますので、リボンをテープから抜くように指示してください。また、事前にリボンがテープから抜けるようにきつく縛らないようにしてください。

ファンファーレや特殊効果などは、テープカットと同時ではなく、テープカット完了後1秒～2秒後にされた方がきれいに実施できます。